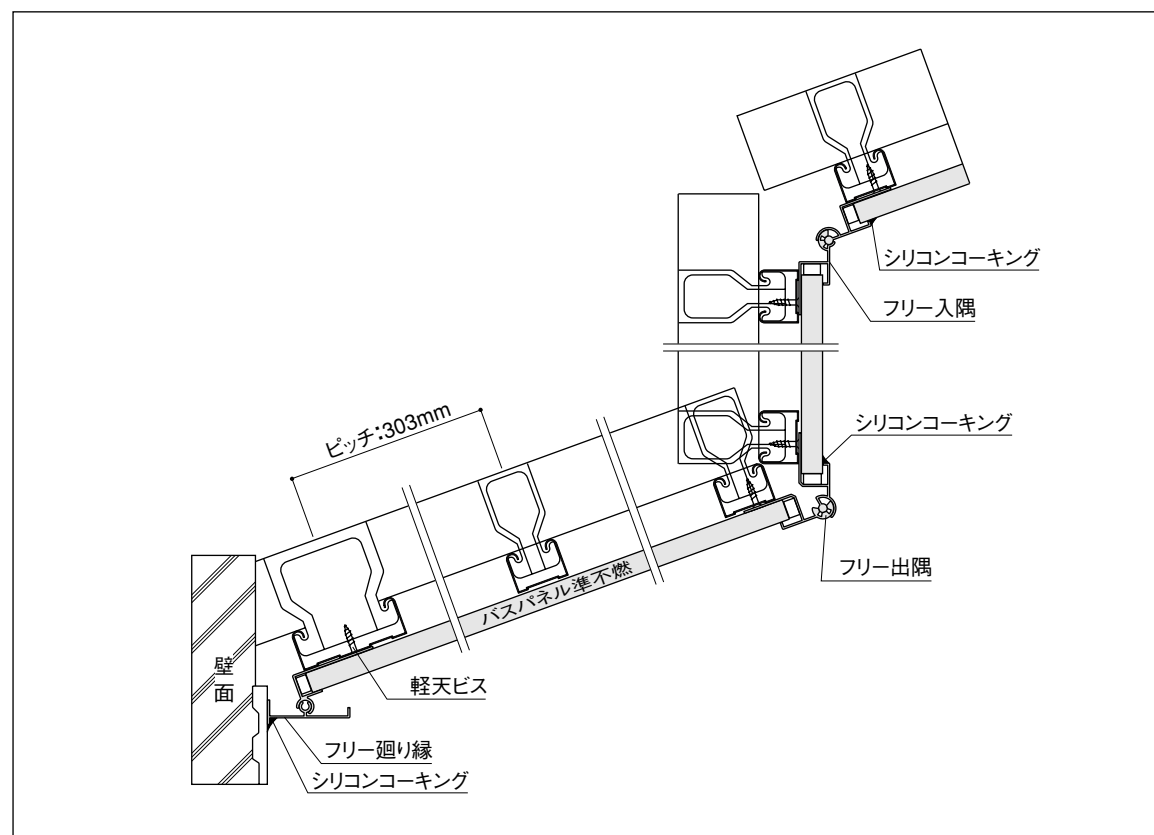
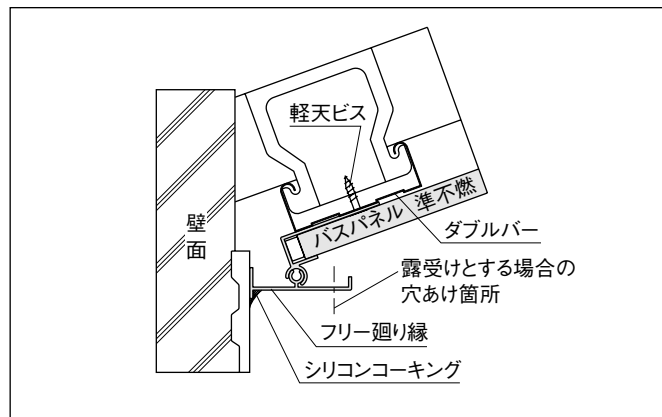


※ フリー廻り縁の取り付け

天井に勾配がある場合には、フリー廻り縁をご利用ください。

- フリー廻り縁はバスパネル準不燃の施工前に取り付けてください。
- フリー廻り縁を結露受けとして利用する場合は、任意の位置（例えば浴室の入隅などに位置する所）に穴を明けた後取り付けてください。



フクビバスパネル準不燃300

施工説明書

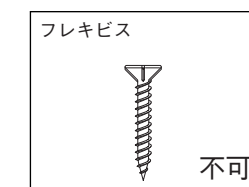
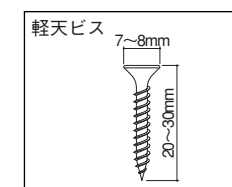
このたびはフクビ製品「バスパネル準不燃」をお買い上げくださりまして有り難うございました。下記施工説明書をよくご覧の上、正しく施工を行ってください。

■ 施工の前に

- 本品は国土交通大臣認定の準不燃建材です。内装制限にかかる浴室にご使用になれます。

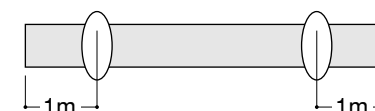
■ 施工上の注意

- 電気工事は電気設備技術基準 203条に従い、電気絶縁工事を完全に行ってください。
- 湿気抜きのため、浴室には必ず換気口を設けてください。湯気の多い浴室では電動換気扇を設置し十分換気を行ってください。
- 照明器具を取り付ける場合は、必ず下地を組み、取り付け後パネルとの隙間が生じた場合は、必ずコーキング材を充填してください。
- 清掃は、住宅用中性洗剤・ぬるま湯で行ってください。有機溶剤（ベンジン・アルコール等）の使用は避けてください。
- バスパネル準不燃を取り付ける際のビスは、軽天ビス（フレキタイプは不可）を使用ください。



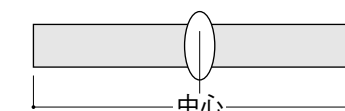
- 4mを超える長尺物の搬送（梱包状態・枚用状態ともに）は必ず2人以上で行ってください。

■ 4mを超えるもの

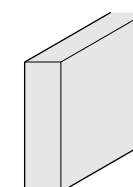


- 両端1mのところを2人で持ってください。
- 横持ちは厳禁です。

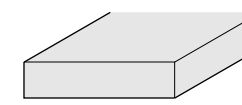
■ 4m以下



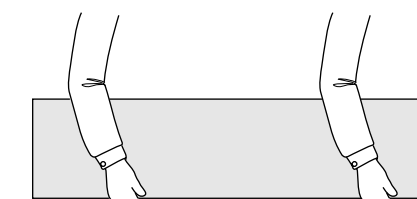
- 1人の場合は中心を持つようにしてください。
- 横持ちは厳禁です。



○：縦持ち



×：横持ち



縦持ち



本社/福井市三十八社町33の66 ☎(0776)38-8013 〒918-8585
工場/本社・坂井(福井)・三方(福井)・大阪・タイ国・USA



東京 ☎(03)5742-6303 大阪 ☎(06)6386-6951 名古屋 ☎(052)532-6662
札幌 ☎(011)896-7500 盛岡 ☎(019)654-7511 仙台 ☎(022)287-3471
新潟 ☎(025)241-7832 宇都宮 ☎(028)636-3521 東関東 ☎(029)841-7611
北関東 ☎(048)661-0400 千葉 ☎(043)247-3651 西東京 ☎(042)529-3911
神奈川 ☎(045)470-1050 静岡 ☎(054)288-3600 北陸 ☎(0776)38-8010
京都 ☎(075)662-2315 広島 ☎(082)246-7211 高松 ☎(087)835-3721
岡山 ☎(086)232-0601 福岡 ☎(092)471-5800 鹿児島 ☎(099)259-0220
沖縄 ☎090-1943-2112

<http://www.fukuvi.co.jp>

■ 施工手順

1. 下地の施工

天井下地は軽量鉄骨下地を組んでください。
尚、鉄骨下地ピッチは303mm以下としてください。

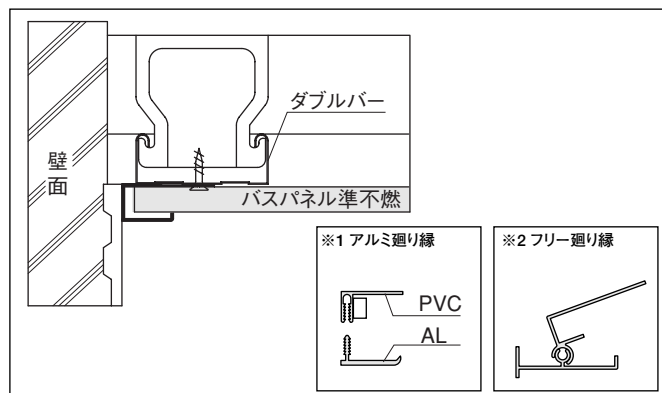
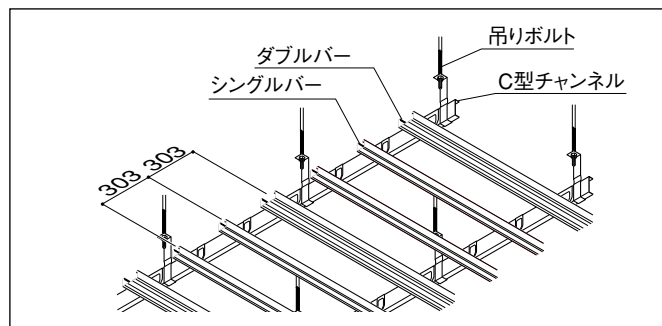
(バスパネルの取り付けピッチも303mm以下になります。)

▲ 注意 軽量鉄骨下地に不陸がありますと、バスパネル準不燃の施工で嵌合が硬くなり入りにくくなる恐れがありますので、軽量鉄骨下地のレベル調整はしっかり行ってください。

2. 廻り縁の取り付け

オールアルミ廻り縁を右図のように壁面の周囲に軽天ビスにて取り付けてください。

※貼り仕舞い部分はオスメス嵌合のアルミ廻り縁※1を、勾配天井の下部はフリー廻り縁※2の使用を推奨いたします。

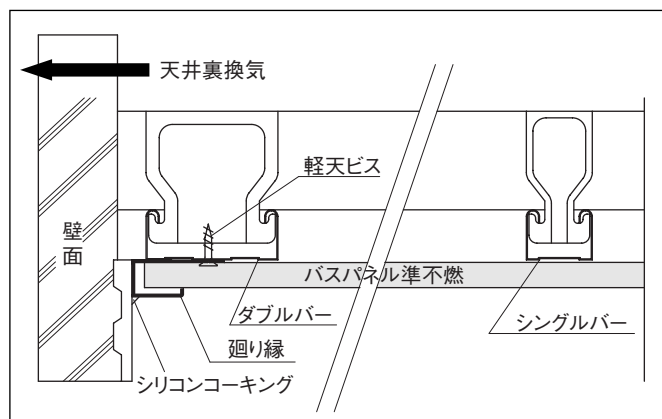


3. バスパネル準不燃の施工

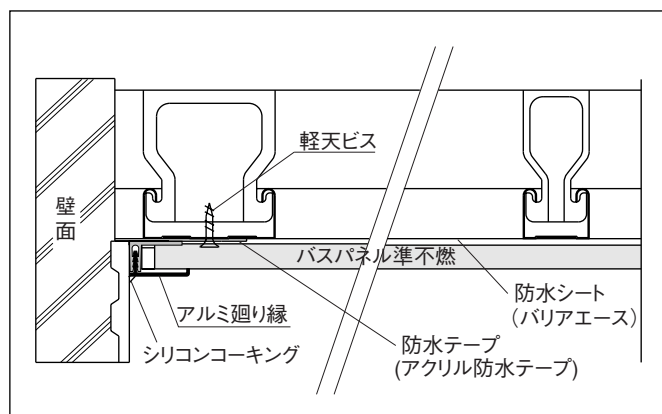
1) バスパネル準不燃を切断するときはアルミ面を上にして切断してください。

2) 軽量下地に直に軽天ビスを使用して303mmピッチ以下で施工してください。

▲ 注意 湿気による天井下地(軽天)の腐食を防ぐため、必ず天井裏換気を取ってください。

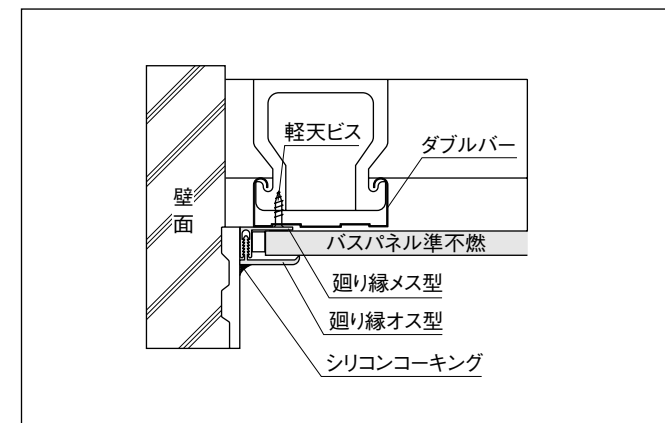


▲ 注意 天井裏換気がどうしても取れない場合は、軽量鉄骨下地の全面に防水シートを貼付け、シートの継目は切れ目のないようにしてください。



4. 仕上げ

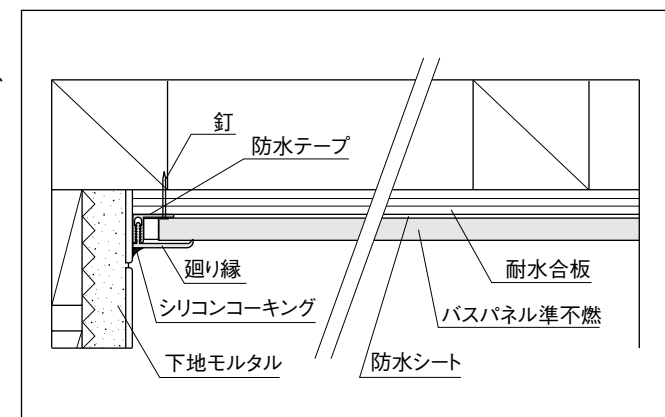
先に取り付けておいた廻り縁のメス型にオス型を差し込んでください。隙間のある場所にはコーキング材を充填してください。



■ 木下地への施工

木野縁もしくは耐水合板下地の場合は、必ず釘施工(303mmピッチ以下)してください。

ビスでの施工は避けてください。(ビス施工ではビスの締め過ぎによるパネルの変形が起きる場合があります。)
また、木下地の腐食を防ぐため、防水紙を貼りつけてください。

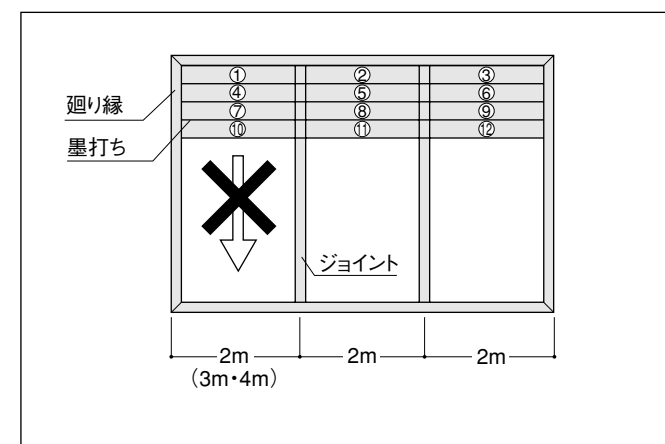


■ 大型物件の場合のパネル施工手順

① バスパネルの目地を通すため、予め墨打ちを行ってください。

② バスパネルの施工手順は右図のようにしてください。

この手順を踏まないと、パネル間の目地ずれが起きる事があります。



フクビバスパネル準不燃200

施工説明書

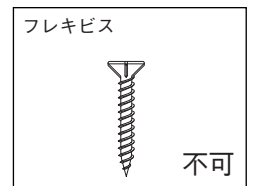
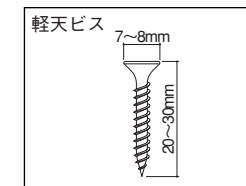
このたびはフクビ製品「バスパネル準不燃」をお買い上げくださりまして有り難うございました。下記施工説明書をよくご覧の上、正しく施工を行ってください。

■ 施工の前に

- 本品は国土交通大臣認定の準不燃建材です。内装制限にかかる浴室にご使用になれます。

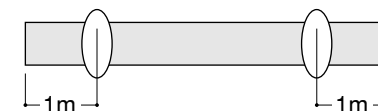
■ 施工上の注意

- 電気工事は電気設備技術基準 203条に従い、電気絶縁工事を完全に行ってください。
- 湿気抜きのため、浴室には必ず換気口を設けてください。湯気の多い浴室では電動換気扇を設置し十分換気を行ってください。
- 照明器具を取り付ける場合は、必ず下地を組み、取り付け後パネルとの隙間が生じた場合は、必ずコーキング材を充填してください。
- 清掃は、住宅用中性洗剤・ぬるま湯で行ってください。有機溶剤（ベンジン・アルコール等）の使用は避けてください。
- バスパネル準不燃を取り付ける際のビスは、軽天ビス（フレキタイプは不可）を使用ください。



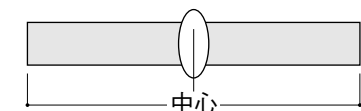
- 4mを超える長尺物の搬送（梱包状態・枚用状態ともに）は必ず2人以上で行ってください。

■ 4mを超えるもの

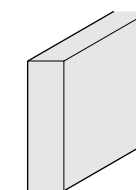


- 両端1mのところを2人で持ってください。
- 横持ちは厳禁です。

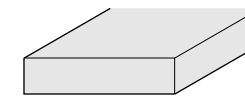
■ 4m以下



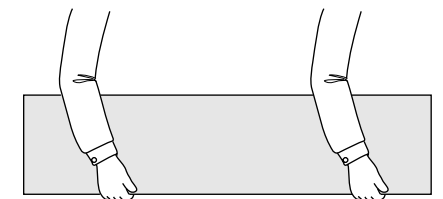
- 1人の場合は中心を持つようにしてください。
- 横持ちは厳禁です。



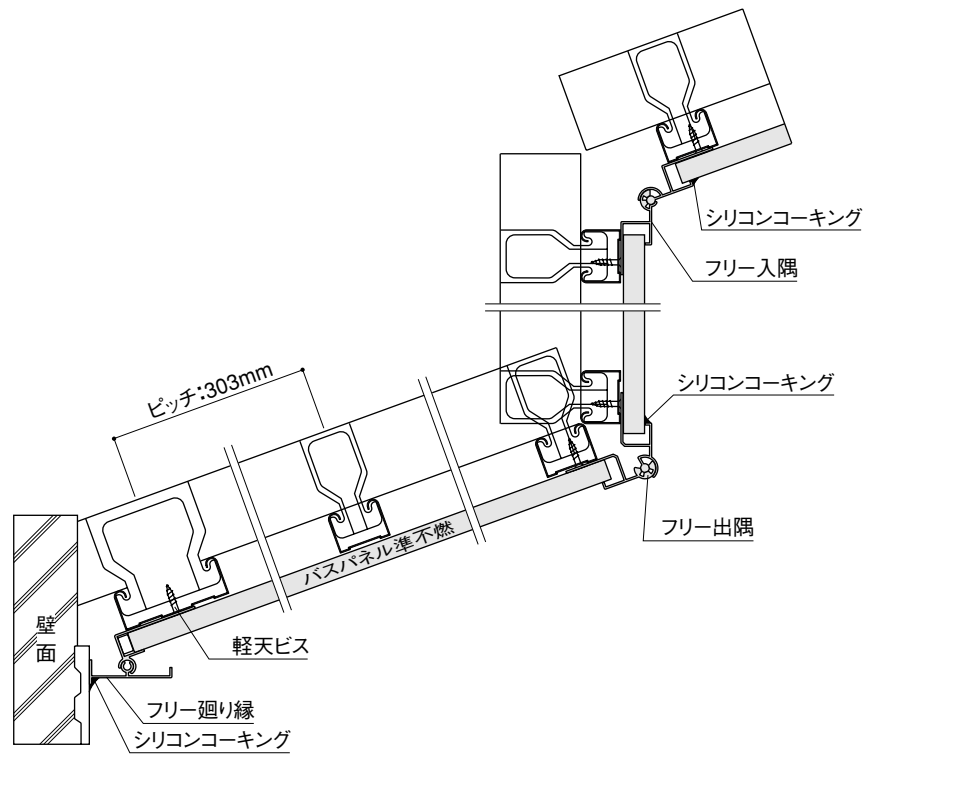
○：縦持ち



×：横持ち



縦持ち



フクビ化学工業株式会社

本社/福井市三十八社町33の66 ☎(0776)38-8013 〒918-8585
工場/本社・坂井(福井)・三方(福井)・大阪・タイ国・USA

ISO 9001 本社・本社工場 開発本部 大阪工場・坂井工場	東京 ☎(03)5742-6303	大阪 ☎(06)6386-6951	名古屋 ☎(052)532-6662
	札幌 ☎(011)896-7500	盛岡 ☎(019)654-7511	仙台 ☎(022)287-3471
ISO 14001 本社・本社工場 三方工場・大阪工場 坂井工場	新潟 ☎(025)241-7832	宇都宮 ☎(028)636-3521	東関東 ☎(029)841-7611
	北関東 ☎(048)661-0400	千葉 ☎(043)247-3651	西東京 ☎(042)529-3911
	神奈川 ☎(045)470-1050	静岡 ☎(054)288-3600	北陸 ☎(0776)38-8010
	京都 ☎(075)662-2315	広島 ☎(082)246-7211	高松 ☎(087)835-3721
	岡山 ☎(086)232-0601	福岡 ☎(092)471-5800	鹿児島 ☎(099)259-0220
	沖縄 ☎090-1943-2112		

<http://www.fukuvi.co.jp>

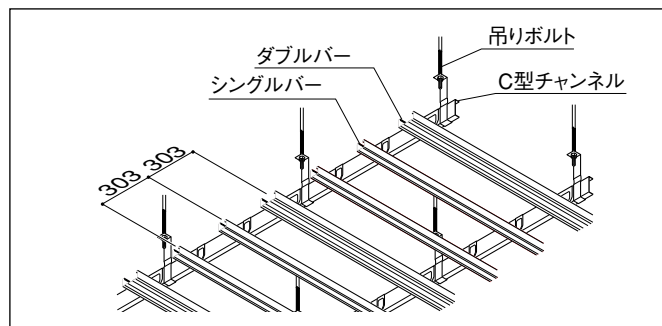
■ 施工手順

1. 下地の施工

天井下地は軽量鉄骨下地を組んでください。尚、鉄骨下地ピッチは303mm以下としてください。

(バスパネルの取り付けピッチも303mm以下になります。)

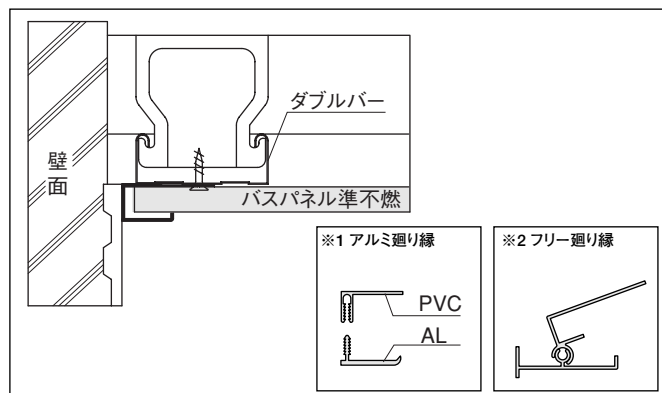
△ 注意 軽量鉄骨下地に不陸がありますと、バスパネル準不燃の施工で嵌合が硬くなり入りにくくなる恐れがありますので、軽量鉄骨下地のレベル調整はしっかり行ってください。



2. 廻り縁の取り付け

オールアルミ廻り縁を右図のように壁面の周囲に軽天ビスにて取り付けてください。

※貼り仕舞い部分はオスメス嵌合のアルミ廻り縁※1を、勾配天井の下部はフリー廻り縁※2の使用を推奨いたします。

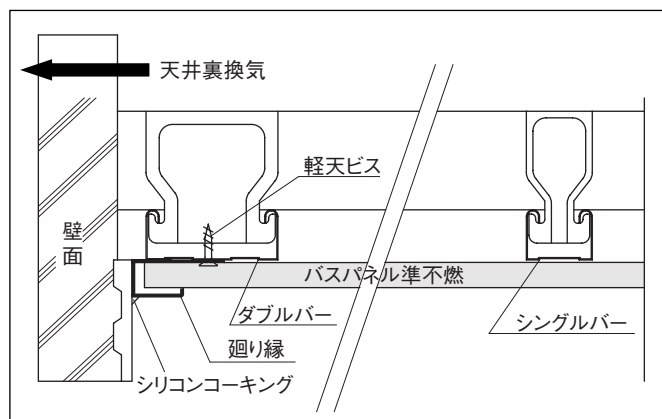


3. バスパネル準不燃の施工

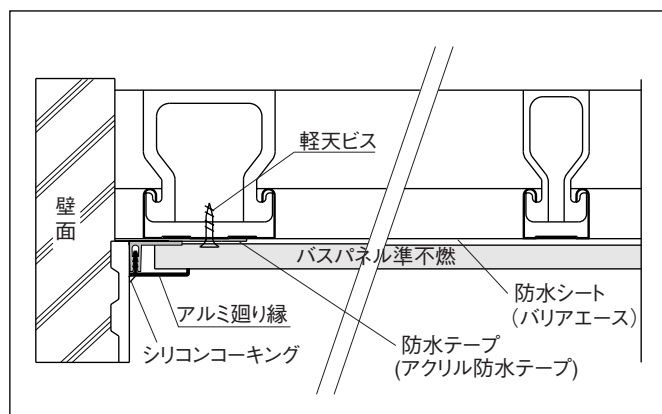
1) バスパネル準不燃を切断するときはアルミ面を上にして切断してください。

2) 軽量下地に直に軽天ビスを使用して303mmピッチ以下で施工してください。

△ 注意 湿気による天井下地(軽天)の腐食を防ぐため、必ず天井裏換気を取ってください。



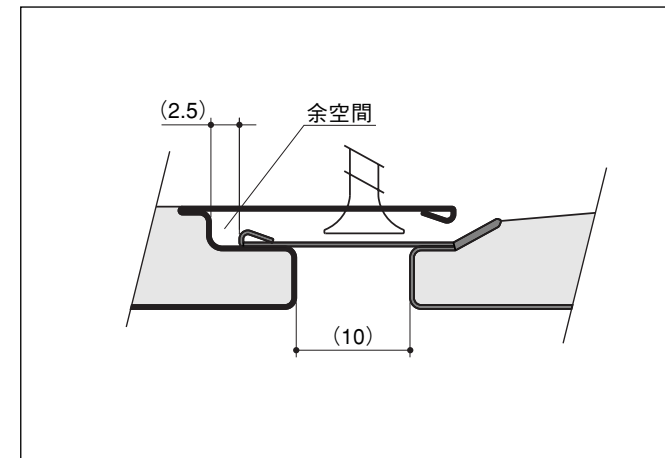
△ 注意 天井裏換気がどうしても取れない場合は、軽量鉄骨下地の全面に防水シートを貼付け、シートの継目は切れ目のないようにしてください。



4. バスパネル準不燃の嵌合・目地調整について

本品は有効巾200mmですので、巾 200mmの寸法を出しながら取り付けていってください。

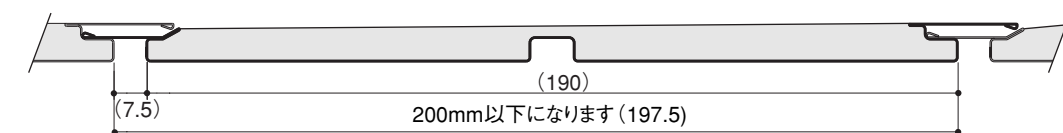
△ 注意 嵌合自体は、余空間を取った形(右図)で有効巾200mmになります(目地ズレ防止対策のため)。従って嵌合を奥まで突付けますと、有効巾が200mm以下(197.5mm)になりますのでご注意ください。



○ : 巾200mmの寸法を出しながら施工



× : 奥まで突付けて施工すると有効巾200mmが出ない



5. 仕上げ

隙間のある場所にはコーキング材を充填してください。

●フリー廻り縁の取り付け

天井に勾配がある場合には、フリー廻り縁をご利用ください。

- フリー廻り縁はバスパネル準不燃の施工前に取り付けてください。
- フリー廻り縁を結露受けとして利用する場合は、任意の位置(例えば浴室の入隅などに位置する所)に穴をあけた後取り付けてください。

